

2021年3月10日

## DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20

ディーアイシービル

### バイオマス原料を使用した軟包装材料用接着剤「ディックドライ BM シリーズ」の市場展開加速

－植物由来原料を使用することで CO<sub>2</sub> 排出量の抑制に貢献－

D I C株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）は、バイオマス原料を使用した軟包装材料用ラミネート接着剤「ディックドライ BM シリーズ」の市場展開を加速します。本製品は、植物由来の原料を一定比率以上使用することでバイオマス度 10～20%を実現した環境調和型製品で、既に食品や日用品などの軟包装材料用途として販売を開始しています。今後、国内だけでなく海外でも販売を拡大し、2025年には売上高 10 億円を目指します。

食品や日用品などのパッケージに用いられる軟包装材料は、多層のラミネート構造になっているため現状リサイクルが難しく、そのほとんどは廃棄後に焼却処理され CO<sub>2</sub>として排出されています。バイオマス原料の使用は、原料の植物が成長する過程で CO<sub>2</sub>を吸収するため、廃棄の際に燃焼しても全体としては地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub>量が増加しない「カーボンニュートラル」に基づき、焼却時に発生する CO<sub>2</sub>排出量を理論上増やさないことを目的としています。

当社が開発したバイオマス接着剤は、有機溶剤で希釈してラミネート工程に使用する「ディックドライ LX-BM シリーズ」に加え、ラミネート工程において VOC（揮発性有機化合物）や CO<sub>2</sub> 排出量削減に寄与する無溶剤型接着剤「HA-BM シリーズ」があります。いずれのシリーズもバイオマス原料を含有しており、一般社団法人日本有機資源協会が認定するバイオスマーク<sup>※1</sup>を取得しています。また、従来の石油由来の接着剤と同等の接着性能を発揮します。

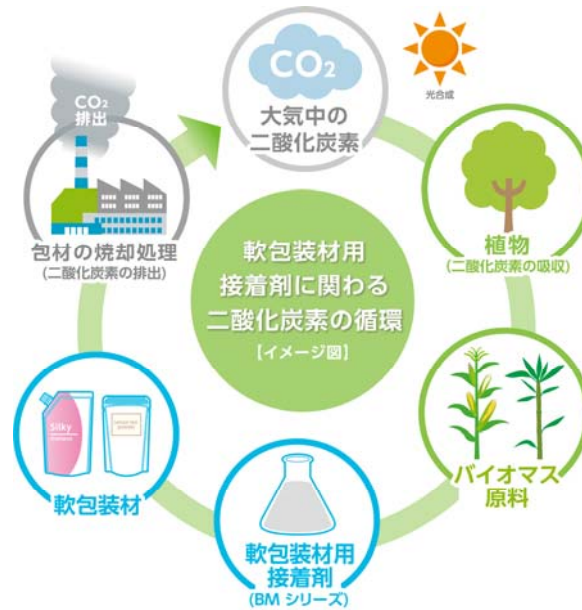
DIC グループは、中期経営計画「DIC111」において地球環境のサステナビリティに貢献するパッケージソリューションを提供することを目指しています。パッケージングマテリアル事業においては、プラスチックの 3 R<sup>※2</sup> を切り口に今後もリサイクルや環境面に配慮した代替素材の開発に注力し、循環型社会の実現に貢献する所存です。

<sup>※1</sup> 「バイオスマーク」とは、一般社団法人日本有機資源協会が認定するマークで、生物由来の資源（バイオマス）を利活用し、品質および安全性が関連法規、基準、規格などに合致している環境商品の目印（一般社団法人日本有機資源協会ウェブサイトより引用）



バイオスマーク

<sup>※2</sup> 「3R」とは、リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（ごみの再生利用）の3つの頭文字をとった環境配慮に関するキーワード



軟包装材料用接着剤に関わる二酸化炭素の循環（カーボンニュートラル）イメージ

## 【製品ウェブサイト】

- 軟包装材料用接着剤「ディックドライ BM シリーズ」製品ページ

<https://www.dic-global.com/ja/event/packaging2021/adhesive/33.html>

## 【関連ニュースリリース】

- 回収ペットボトルを原料とした軟包装材料用接着剤「ディックドライ LX-RP シリーズ」を開発（2020年12月1日）

<https://www.dic-global.com/ja/news/2020/products/20201130182926.html>